



令和7年度 保護司会 役員



発行所 枚方・交野地区保護司会
ホームページ
www.hirakata-shakyo.net/hogoshikai/
発行者 清水 和 明

この度、2期目の枚方・交野地区保護司会会長を務める事になりました。これまで2年の経験を活かし、枚方・交野地区保護司会の為に、全力投球で努めたいと存じます。皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

さて、犯罪情勢は、令和6年版犯罪白書によりますと、刑法犯の認知件数が令和4年から2年連続で増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前である令和元年の水準に転じていますが、保護観察事件数は、前年度から横ばい状態で推移しています。この状況から当保護司会では、対象者の更生保護と就労支援については引き続き、重要な課題であると考えます。

今年の『社会を明るくする運動』では、各保護司が先頭に立って、『犯罪のない社会を目指す』という呼びかけを、同じ地域で活動している各種関係団体の皆さんにご

枚方・交野地区保護司会
会長 清水 和明

協力をお願い、実施させていただきたく存じます。

また、『社明運動』の一環として、各小学校・中学校の協力を得て、毎年『作文コンテスト』を実施しています。これは、青少年の非行防止と更生保護思想の浸透を図る大切な行事と受け止めています。これについては、各小学校・中学校の協力無くしては実施できない行事であり、作文を通じて、学校と保護司が具体的な取り組みを通じて連携強化を図る活動になっております。誠に有難いことと受け止めており、これからの保護司と教育機関が連携強化を図ることは、保護司会にとっても、大変喜ばしい事だと考えます。

昨年、大津で発生した事件は、我々保護司にとって大きな出来事でした。この案件を受けて、同じ地域の保護司が、日頃から連絡を密にすると共に、受け持ちの対象者に丁寧に対応し、保護司の役割を果たすこと、また、プライバシーを配慮した上で相談内容の共有化を図ることも大切なことだと考えます。これについては、地区内の保護司同士での連携や調整機能を持つ保護司会の役割が必要不可欠です。

現在の枚方・交野地区保護司会の保護司定数は121名となっておりますが、今年3月末時点で98名の保護司で活動をしています。このしばらくは、100名を下回るが増えまいりました。枚方地区・交野地区毎の大きな差は無く、全地域で同様に欠員状態であり、地域の皆さまや退任される先輩保護司には、「共に活動していただけた方を、一人でも多く開拓していただきたい」とお願いをしています。保護司としての適性や対象者への配慮が可能な環境を確保するなど、活動上の留意点への心配りも必要で、人選が難しい面がございます。

このような現状をご理解いただき、保護司として活動して頂ける人材がおられましたら、保護司候補者としてご推薦をお願いする次第です。

以上で、就任のあいさつに代えてさせていただきます。

TOPICS

- (1) 会長あいさつ
- (2) 大阪保護観察所から・新体制でスタート！
- (3) 第75回「社会を明るくする運動」
- (4) 保護司の動静・薬物乱用防止推進委員会



ホームページへの
アクセスはこちらから

大阪保護観察所から

息の長い支援

大阪保護観察所

所長 山田 浩司



枚方・交野地区保護司会の皆様におかれましては、誰もが安心して暮らせる社会に向け、平素から多様な活動に御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、皆様御案内のとおり、

刑法等の一部を改正する法律により更生保護法等が改正され、既に1年が経過しました。この改正では、刑の執行終了者等に対する援助、更生保護に関する地域援助など、従来の保護観察期間にとらわれることなく、保護観察を受けていた人たちに對する改善更生を支援する制度が設けられ、元保護観察対象者等の意思に反しないことを前提に、地域の専門機関との連携、あるいは専門機関につなげるることによって、継続的な支援を確保し、確実な社会復帰に

結び付けております。

こうした新たな施策をはじめ、「第2次再犯防止推進計画」などに基づく様々な取組の実施によって、刑法犯再犯者率、特別法犯再犯者率、出所受刑者の再入率（2年以内・3年以内・5年以内）はいずれも減少するなど、各項目における成果も確実に見えてきているところ、本年6月には、懲役刑と禁錮刑を一本化した「拘禁刑」が開始され、受刑者に必要な作業をさせ、受刑者の資質や事情を踏まえた処遇を行うことにより改善更生を図るという流れがさらに促進されることとなります。

犯罪や非行からの立ち直り、

そして社会復帰への促進は、新たな犯罪被害者を生まない、安全で安心な社会の実現につながるものです。保護司の皆様をはじめ、各関係機関、そして地域にお住まいの一人お一人が相互に支援し連携することにより、さらに安心して暮らすことのできるより良い社会に向け、保護観察所も引き続きその役割を果たしてまいりたいと存じます。

皆様方の変わらぬお力添えを賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます

対象者支援は「足場作り」

大阪保護観察所

保護観察官

平泉 信弥



保護司の皆様におかれましては、日頃から更生保護をはじめとした地域の活動に取り組まれておられることに心から敬意を表します。今年度、交野地区を担当させていただきまます平泉信弥と申します。

ここで、自己紹介として、私が対象者との面接でテーマとしていることを紹介したいと思います。それは「足場作り」です。面接は、再犯・再非行の防止という目標に向けて行うものであると同時に、対象者にとって大切なことや強みを表現してもらおう場でもあると思っています。しかし、単に話をするだけでは、仮に相手が素直な態度を取っていたとしても、自分の内面を見つめ直して話をしてくれること

はほとんど期待できません。未知の領域に一步を踏み出すためには他者からの援助が必要になってくるのですが、それを足場作りと私は呼んでいます。例えば、相手の置かれた立場や状況を謙虚な気持ちで尋ねること、相手が話した言葉の意味を改めて一緒に考えることなどが足場作りのために役に立つと感じています。私たちの現場では、難題におつかることも多々ありますが、皆様と一緒に乗り越えていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



アカルイーネちゃん

新体制でスタート

会長 清水 和明
副会長 並木美代子

総務部 部長 惠阪 順三
副部長 柁宜ひとみ

会計 端野 敦夫
池田 幸子
特任理事 (渉外担当) 田村 正治

研修部 部長 中川 光朗
副部長 立浪 友康

社明部 部長 芝田 実
副部長 津上 孝子

広報部 部長 木崎 龍彦
副部長 上田 哲也

組織部 部長 廣田 恭孝
副部長 伊藤 寛

監事 富田 芳一
井上 秀正

更生保護サポーターセンター 副センター長 中島 秀芳
加藤 勤

枚方・交野地区保護司会の皆様には、日頃より更生保護活動をはじめ、犯罪や非行の防止や青少年の健全育成にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

『社会を明るくする運動』は、地域住民が犯罪や非行の防止と、それらをした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くため、全国で展開され

実施委員長あいさつ



実施副委員長
伏見 隆 枚方市長



実施委員長
山本 景 交野市長

第75回『社会を明るくする運動』

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

● 強調月間／令和7年7月1日～31日

ている運動であり、今年で75回目を迎えます。

令和5年における全国の刑法犯の認知件数は約70万件で2年連続の増加となり、特に街頭犯罪や性犯罪、サイバー犯罪が顕著に増加し、さらにSNSを利用した特殊詐欺や薬物事犯も深刻化しています。

また、依然として再犯者の割合は高く、刑法犯検挙者の約半数を占めています。再犯防止には、就労・住居の確保、保健医療・福祉サービスの利用促進、教育支援など、多角

第75回 社会を明るくする運動

主唱・法務省



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

見つめよう
ネットじゃなくて
相手の目

主催 枚方・交野地区社会を明るくする運動実施委員会
協賛

的な支援が必要です。それゆ

え犯罪や非行からの立ち直り

を支えるには、法制度だけで

なく、人と人との信頼や絆が

不可欠です。保護司の皆さま

が地域に根差し、一人ひとり

と向き合いながら更生支援に

取り組んでくださっているこ

とは、まさに「共に生きる社

会」を実現する基盤です。皆

さまの温かく粘り強い支援

が、更生の道を歩む人たちに

とって何よりの支えとなつて

おります。

「社会を明るくする運動」

を通じて、誰もが再出発を支

え合える社会の実現を、皆さ

まと共に目指してまいりたい

と思いますので、引き続き、

ご支援ご協力を賜りますよう

心よりお願い申し上げます。

目 標

①犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと

②犯罪や非行した人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

行事予定

7月1日(火)

開場 午前11時30分
開会 午後0時30分
枚方市総合文化芸術センター
関西医大 大ホール

● オープニング

関西外国語大学

吹奏楽部の演奏

● 式典

主催者来賓者挨拶

テント贈呈

● 記念講演

演題「共に生きるということ」
「私」がそばにいるから」

講師 公認心理師・

精神保健福祉士

高部 知子氏



講師

公認心理師/精神保健福祉士
高部 知子(たかべ ともこ)氏

1967年 東京都生まれ。中学生の時にスカウトされ、NHK「ガラスのうさぎ」でデビュー。以後、「積木くずし」や3人ユニット「わらべ」などに出演。結婚を機に引退。現在は、認知行動療法(CBT)をベースとした高齢者向け、依存症向けの精神療法を専門とされています。

年間を通しての取組

7月は第75回「社会を明るくする運動」の強調月間です。行事は7月に集中しますが関連の啓発活動はその後も継続して行われます。

● 標語パネルの掲示(7月)

● 枚方市・交野市の中学校三年生に標語入りフリアファイルを配布(7月)

● 街頭キャンペーン(7月18日17時30分)枚方・交野市内のJR・京阪の主要駅駅前で除菌ティッシュを配布

● 作文コンテスト(枚方市・交野市在住の小中学生対象各小中学校を訪問し応募依頼。※個人応募も受付(受付は8月末まで)審査(9月初旬)小中学校から優秀作品が各3作品と佳作作品数点を選出優秀作品の6作品を大阪府推進委員会に推薦結果発表(11月)全参加者に参加賞入選者に記念品を贈呈

保護司の動静

◎退任保護司

◇令和7年1月24日付

北川 順清 (津田)

原 千明 (殿山第二)

六車 健 (津田南)

◇令和7年1月31日付

※今井美佐子 (蹉跎西)

谷本真紀子 (菅原東)

野村 生代 (五常)

◇令和7年5月24日付

船戸 和夫 (菅原東)

(※印 名誉会員に就任)

◎新任保護司

◇令和7年1月25日付

水嶋 良和 (桜丘)

木原 慎一 (枚方第二)

中野ミチル (東香里)

小林 仁 (津田南)

中山 彰子 (藤阪)

金澤 賢一 (倉治)

◇令和7年5月25日付

河本 賢一 (平野)

泉 京介 (春日)

退任のあいさつ



野村 生代

2010年に保護司に選任され、元々中学校の教員だったこともあり、対象者は10代後半の若者でした。教員時代

を懐かしみながら、保護司として緊張感をもって、若者と向き合いました。家族の在り方が要だと思いました。居場所がある子とない子では、心の抛り所が異なることに改めて気づきました。本業が忙しくなり、時間と心の余裕がなくなり、退任しましたが、今まで、多くのみなさんにお世話になったことに感謝しています。ありがとうございます。

新任のあいさつ



金澤 賢一

私は、交野市の倉治で生まれ育ち、現在は地元で町委員を務めています。枚方市役所を65歳で退職し

た折に、区長からの依頼もあり、保護司を引き受けることとなりました。新任研修では先輩保護司の経験談もお聞きし、大変なことも感じましたが、これまでの人生経験や行政に携わった経験を活かし、犯罪や非行をした人の立ち直り支援や犯罪予防の取組みに少しでも貢献できたらと思っています。どうぞご指導よろしくお願い致します。

薬物乱用防止出前授業

『ダメ！ゼッタイ！』に願いを込めて

薬物乱用防止推進委員会は活動を始めて約10年。研修を重ね小学校6年生を対象とした出前授業も27回を数えました。

近年、薬物乱用は増加傾向にあり子どもを含む若者世界に広がっています。

授業では、薬物乱用への第一歩にストップをかけることを目標に、DVD視聴・O×クイズ・ロールプレイを取り入れています。

子どもたちの食い入るような姿や授業後の感想文からも、この事業の必要性を痛感しています。

今後は、子どもたちを見守って下さっている地域の方々にも、この事業を広げていけたらと願っています。

薬物乱用防止推進委員

吉田 久子



更生ペンギンの
ホゴちゃん&サラちゃん

編集後記

昭和1000年、2025大阪関西万博、第75回社運運動など、脈々(ミヤクミヤク)と、継承される歴史の一端「みのり」97号編集にあたり、新メンバーにて纏め上げることができました。

偏に、寄稿賜りました諸氏・事務局の方々のご協力に対し、心より感謝を申し上げます。「先意承問(せんいじょうもん)の精神が、新広報部の一致団結を生み、「社会を明るくする運動」の一助となる事と存じます。新年度始動にあたり、皆様のご健勝を祈念いたします。(広報部一同)